

平成23年度

上尾市立小・中学校学力調査結果

〈概要〉

(平成23年4月14日実施)



— 夢・感動教育 あげお —
上尾市教育委員会

目 次

1	学力調査実施の概要	
(1)	調査の趣旨	1
(2)	調査対象	1
(3)	調査期日	1
(4)	調査教科及び調査時間	1
(5)	使用検査紙	1
(6)	調査人数	1
2	学校別・学年別調査結果の概要	
	【小学校】 総合	2
	【中学校】 総合	3
3	教科別調査結果の概要	
	【小学校】	4
	【中学校】	5
4	領域別・観点別調査結果の概要	
	【小学校】	6
	【中学校】	10
5	各教科の課題と改善の視点	
	【小学校】	14
	【中学校】	14
6	質問紙調査結果の概要	
	【小学校第6学年】	16
	【中学校第3学年】	23
7	まとめ	30

1 学力調査実施の概要

(1) 調査の趣旨

本市児童生徒の学力の実態を把握するとともに、課題を明らかにして学習指導の改善を図ることにより、確かな学力を育成する。

(2) 調査対象

小学校 3. 4. 5. 6年

中学校 1. 2. 3年

(3) 調査期日

平成23年4月14日(木)

(4) 調査教科及び調査時間

小学校：第3学年～第6学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校：第1学年 国語(40分)、算数(40分)

中学校：第2学年・第3学年 国語(45分)、数学(45分)、英語(45分)

※ 出題範囲は、前年度の学年の学習内容

※ 小学校第6学年、中学校第3学年で質問紙調査を実施

(5) 使用検査紙

TK式領域別標準学力検査(田中教育研究所編)

(6) 調査人数

	国語		算数・数学		英語	
	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)	調査人数	実施率(%)
小学校	8,561	98.4	8,563	98.4	—	—
中学校	6,094	97.9	6,096	97.9	4,043	97.4
合計	14,655	98.2	14,659	98.2	4,043	97.4

2 学校別・学年別調査結果の概要

〔表の見方〕

- ① 数値は、全国標準値を50.0とした場合の各学校の数値である。
- ② 小学校22校、中学校11校の学校全体の平均値と各学年の平均値をそれぞれ数値の高い順に示している。
- ③ 同じ行の数値が、すべて同じ学校のものであるとは限らない。

【小学校】

総合（国語と算数を統合した数値）成績一覧

	学校全体	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
1	55.2	58.2	55.8	54.9	55.2
2	54.3	54.9	55.8	54.5	54.9
3	54.2	54.4	54.3	54.2	54.6
4	54.1	54.2	53.7	54.1	54.1
5	53.7	53.9	53.6	54.0	54.0
6	53.4	53.8	53.4	53.9	54.0
7	53.2	53.4	53.2	53.8	53.6
8	53.0	53.3	52.9	53.3	53.6
9	52.8	53.0	52.7	53.2	53.6
10	52.8	52.9	52.5	53.2	53.5
11	52.7	52.8	52.3	52.4	53.5
12	52.6	52.5	52.3	52.1	53.3
13	52.5	52.3	52.3	51.9	52.4
14	51.9	52.0	52.2	51.1	52.0
15	51.8	51.7	51.5	51.0	52.0
16	51.3	51.6	51.2	50.7	51.6
17	50.7	51.5	50.5	50.5	51.1
18	50.6	51.5	50.2	49.3	50.9
19	50.5	51.4	50.1	49.0	50.5
20	49.7	49.9	50.1	48.3	49.8
21	49.5	49.8	48.7	48.0	49.8
22	49.3	49.4	48.0	46.0	47.7
上尾市全体	52.4	52.7	52.4	51.9	52.8

【中学校】

総合（第1学年は国語と算数、2・3学年は国語と数学と英語を統合した数値）一覧

	学校全体	第1学年	第2学年	第3学年
1	53.4	51.3	54.7	54.6
2	51.9	50.9	53.9	52.6
3	51.9	50.9	52.4	51.7
4	51.2	50.4	52.3	51.7
5	50.5	50.3	51.7	51.5
6	50.2	50.2	51.7	51.4
7	50.1	49.7	49.7	50.6
8	49.8	49.5	49.7	50.1
9	49.7	48.1	49.5	49.5
10	48.2	47.7	47.4	49.0
11	47.8	47.3	46.0	47.0
上尾市全体	50.7	49.9	51.2	51.0

（分析）

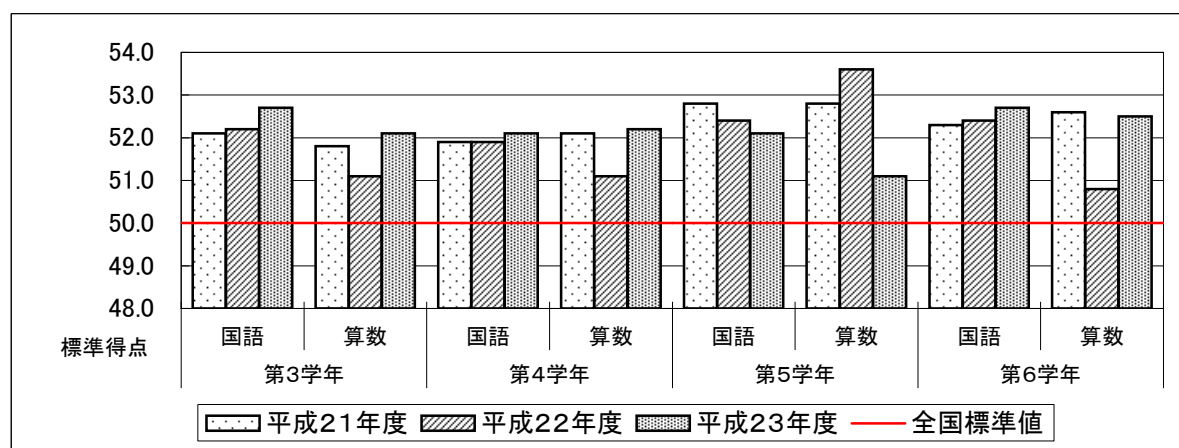
- 小学校では、22校中19校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- 中学校では、11校中7校において、学校全体の総合成績が全国標準値を上回っている。
- ・ 小学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。
学年別の状況も、すべての学年で全国平均を上回っている。
- ・ 中学校では、上尾市全体として全国平均を上回っている。
学年別の状況は、2、3学年は全国平均を上回っているが、1学年は下回っている。

3 教科別調査結果の概要

【小学校】

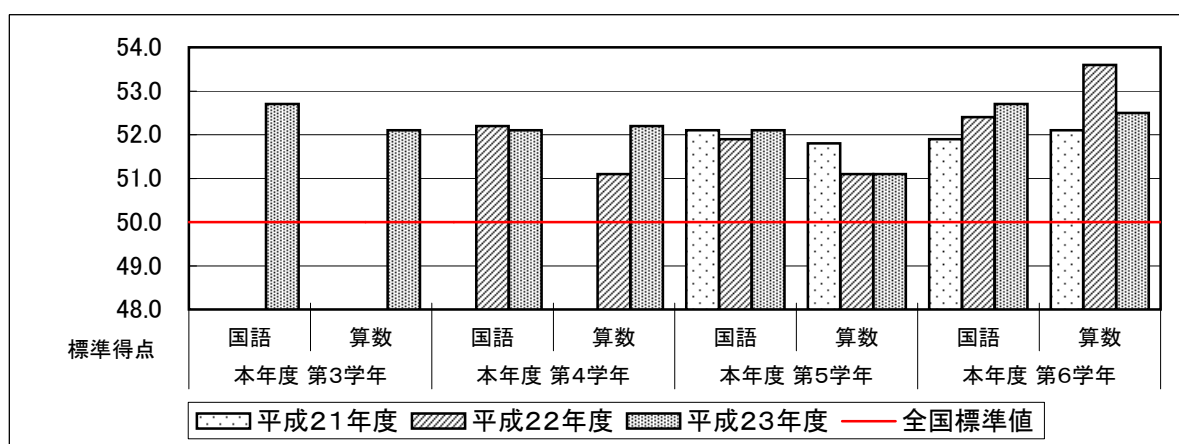
(1) 平成21年度～平成23年度の同学年における比較

	第3学年		第4学年		第5学年		第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成23年度	52.7	52.1	52.1	52.2	52.1	51.1	52.7	52.5
平成22年度	52.2	51.1	51.9	51.1	52.4	53.6	52.4	50.8
平成21年度	52.1	51.8	51.9	52.1	52.8	52.8	52.3	52.6



(2) 平成21年度～平成23年度の同グループにおける比較

	本年度 第3学年		本年度 第4学年		本年度 第5学年		本年度 第6学年	
	国語	算数	国語	算数	国語	算数	国語	算数
平成23年度	52.7	52.1	52.1	52.2	52.1	51.1	52.7	52.5
平成22年度	*	*	52.2	51.1	51.9	51.1	52.4	53.6
平成21年度	*	*	*	*	52.1	51.8	51.9	52.1



(分析)

本年度も、すべての学年において、国語、算数ともに全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第3学年・第4学年・第6学年の国語と算数が、上回っている。
- 3年間の経過を見ると、第3学年・第6学年の国語が伸びている。

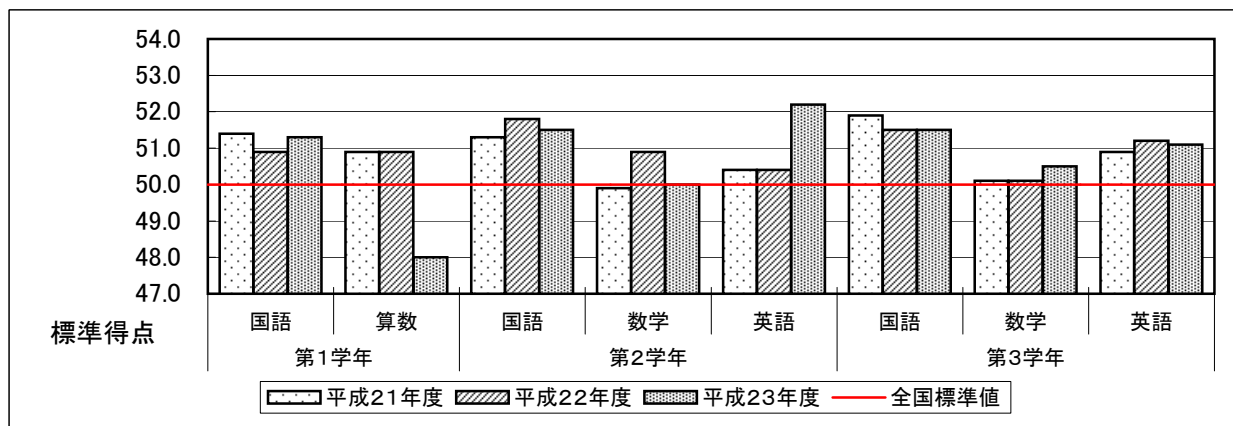
【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第4学年の算数、第5学年・第6学年の国語が伸びている。
- 3年間の経過を見ても、第6学年の国語が伸びている。

【中学校】

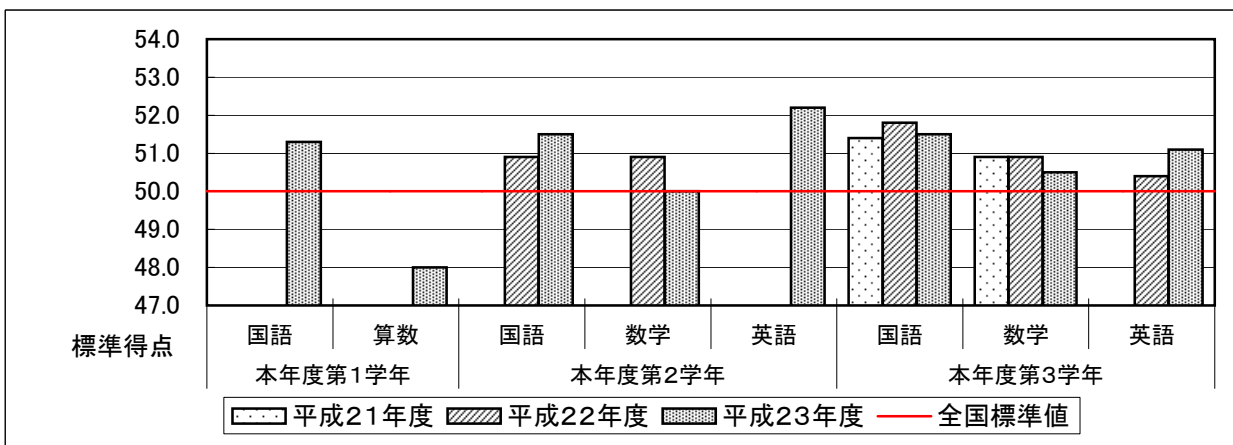
(1) 平成21年度～平成23年度の同学年における比較

	第1学年		第2学年			第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成23年度	51.3	48.0	51.5	50.0	52.2	51.5	50.5	51.1
平成22年度	50.9	50.9	51.8	50.9	50.4	51.5	50.1	51.2
平成21年度	51.4	50.9	51.3	49.9	50.4	51.9	50.1	50.9



(2) 平成21年度～平成23年度の同グループにおける比較

	本年度第1学年		本年度第2学年			本年度第3学年		
	国語	算数	国語	数学	英語	国語	数学	英語
平成23年度	51.3	48.0	51.5	50.0	52.2	51.5	50.5	51.1
平成22年度	*	*	50.9	50.9	*	51.8	50.9	50.4
平成21年度	*	*	*	*	*	51.4	50.9	*



(分析)

本年度は、すべての学年において、国語と英語が全国標準値を上回っている。数学は、第2学年・第3学年が全国標準値を上回っている。

【同学年における比較】

- 昨年度との比較では、第1学年の国語、第2学年の英語、第3学年の数学が上回っている。
- 3年間の経過を見ると、第2学年の英語、第3学年の数学が伸びている。

【同グループにおける比較】

- 昨年度との比較では、第2学年の国語、第3学年の英語が伸びている。
- 3年間の経過を見ると、第3学年の数学が下降している。

4 領域別・観点別調査結果の概要

※ 領域：学習指導要領に示されている各教科における指導内容の区分

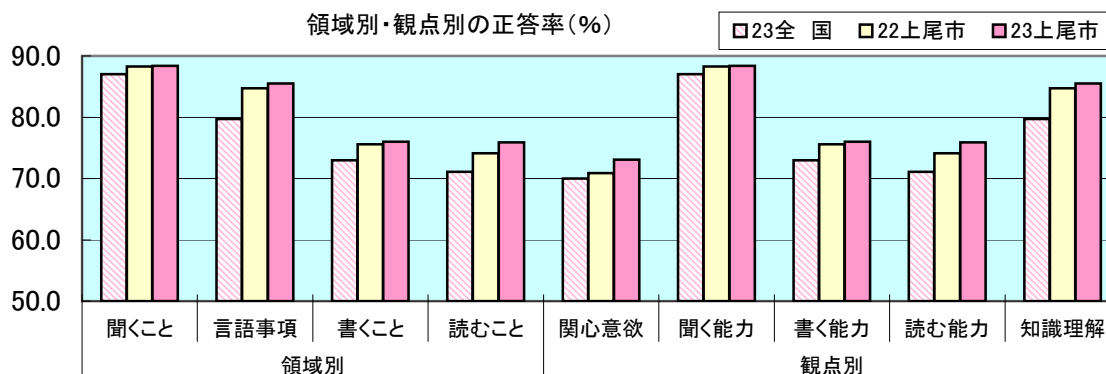
※ 観点：観点別学習状況の評価の観点

※ 正答率：各領域・観点ごとの問題数に対する正答数の割合

【小学校】

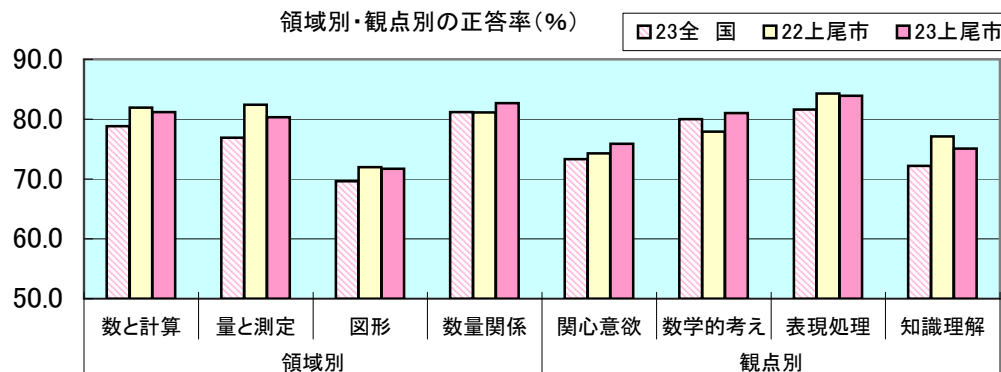
(1) 第3学年（第2学年の学習内容）

【国語】



	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
23上尾市	88.4	85.5	76.0	75.9	73.1	88.4	76.0	75.9	85.5
22上尾市	88.3	84.7	75.6	74.1	70.9	88.3	75.6	74.1	84.7
23全 国	87.0	79.7	73.0	71.1	70.0	87.0	73.0	71.1	79.7

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	表現処理	知識理解
23上尾市	81.2	80.3	71.7	82.7	75.9	81.0	83.9	75.1
22上尾市	81.9	82.4	72.0	81.1	74.3	77.9	84.3	77.1
23全 国	78.8	76.9	69.6	81.2	73.3	80.0	81.6	72.2

(分析)

【国語】

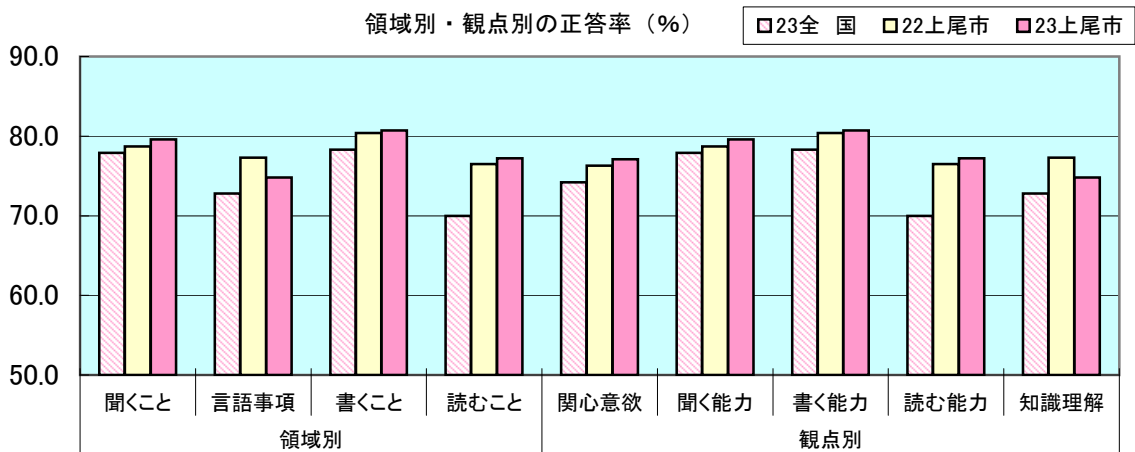
- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、すべての問題で全国の正答率を上回っている。

【算数】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別では「数量関係」、観点別では「関心・意欲」「考え方」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、九九に関する問題、異なる単位を含む長さの計算、図を見たり文を読んだりしてかけ算の式を立てる問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

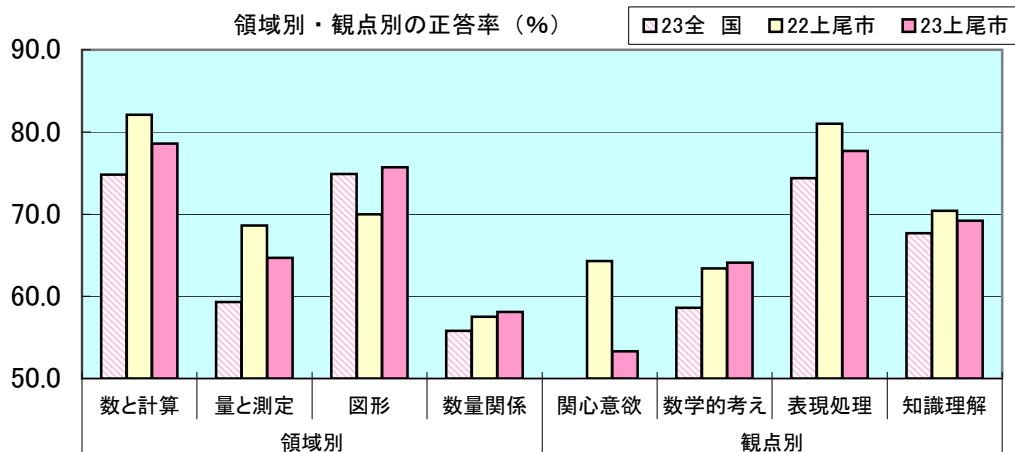
(2) 第4学年(第3学年の学習内容)

【国語】



	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
23上尾市	79.6	74.8	80.7	77.2	77.1	79.6	80.7	77.2	74.8
22上尾市	78.7	77.3	80.4	76.5	76.3	78.7	80.4	76.5	77.3
23全国	77.9	72.8	78.3	70.0	74.2	77.9	78.3	70.0	72.8

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	表現処理	知識理解
23上尾市	78.6	64.7	75.7	58.1	53.3	64.1	77.7	69.2
22上尾市	82.1	68.6	70.0	57.5	64.3	63.4	81.0	70.4
23全国	74.8	59.3	74.9	55.8	49.1	58.6	74.4	67.7

(分析)

【国語】

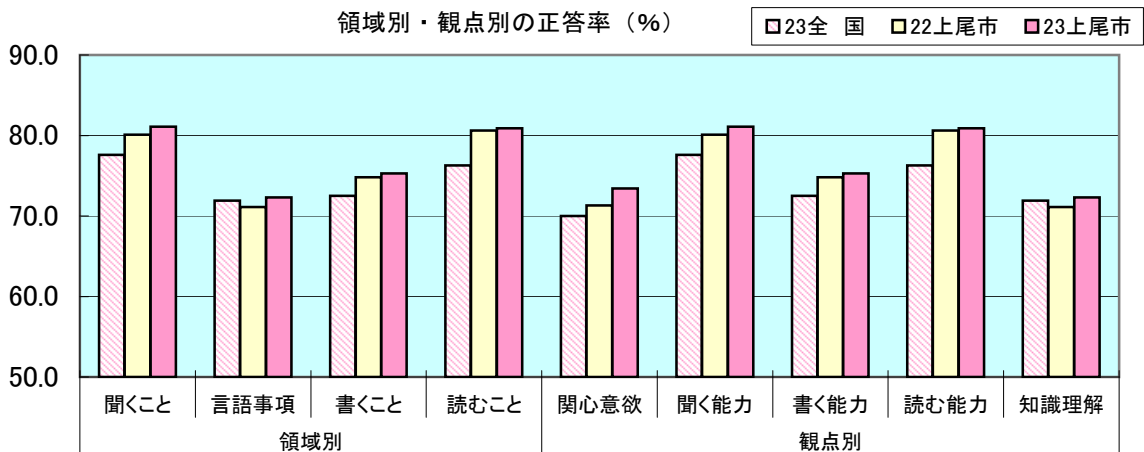
- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「言語事項」、観点別の「知識・理解」で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、すべての問題で全国の正答率を上回っている。

【算数】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「図形」「数量関係」、観点別の「考え方」で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、重さを表す単位を理解し重さを比較する問題、球の断面図に関する問題、表に整理したりグラフを読み取る問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

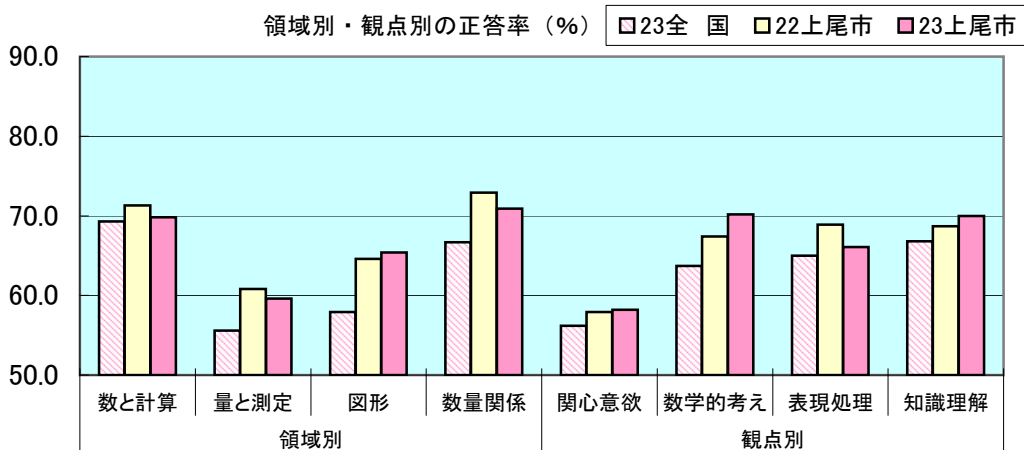
(3) 第5学年(第4学年の学習内容)

【国語】



	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
23上尾市	81.1	72.3	75.3	80.9	73.4	81.1	75.3	80.9	72.3
22上尾市	80.1	71.1	74.8	80.6	71.3	80.1	74.8	80.6	71.1
23全 国	77.6	71.9	72.5	76.3	70.0	77.6	72.5	76.3	71.9

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	表現処理	知識理解
23上尾市	69.8	59.6	65.4	70.9	58.2	70.2	66.1	70.0
22上尾市	71.3	60.8	64.6	72.9	57.9	67.4	68.9	68.7
23全 国	69.3	55.6	57.9	66.7	56.2	63.7	65.0	66.8

(分析)

【国語】

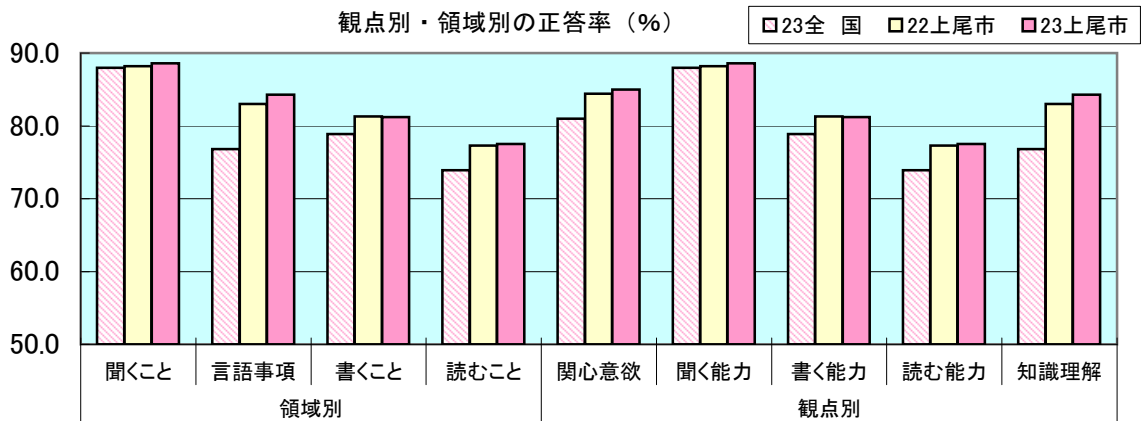
- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、述語にあたる言葉を選ぶ問題について全国の正答率を下回り、課題がある。

【算数】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別では「図形」、観点別では「関心・意欲」「考え方」「知識・理解」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、四捨五入して上から1けたの概数にする問題、整数と小数の混じったひき算やわり算の問題、水のかさを小数で表す問題、分度器で角度を測る問題、三角定規を組み合わせた角度を求める問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

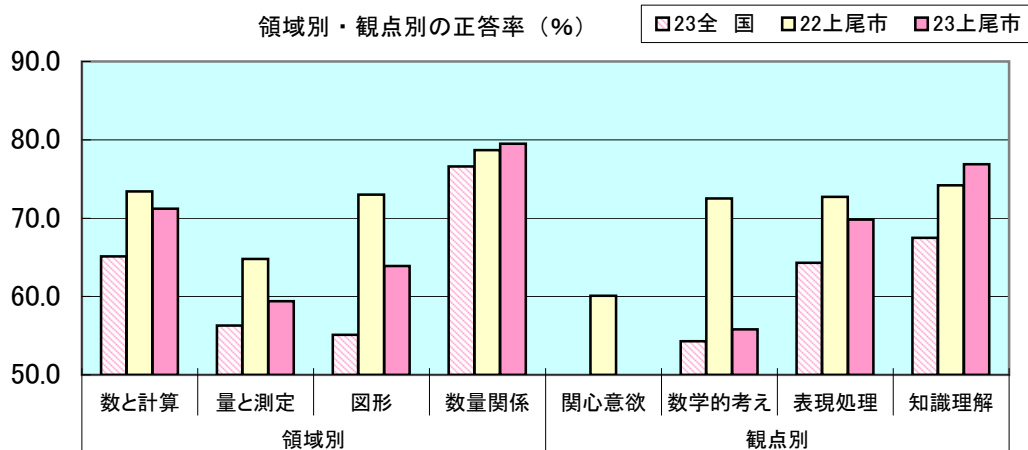
(4) 第6学年(第5学年の学習内容)

【国語】



	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
23上尾市	88.6	84.3	81.2	77.5	85.0	88.6	81.2	77.5	84.3
22上尾市	88.2	83.0	81.3	77.3	84.4	88.2	81.3	77.3	83.0
23全国	88.0	76.8	78.9	73.9	81.0	88.0	78.9	73.9	76.8

【算数】



	数と計算	量と測定	図形	数量関係	関心意欲	考え方	表現処理	知識理解
23上尾市	71.2	59.4	63.9	79.5	48.1	55.8	69.8	76.9
22上尾市	73.4	64.8	73.0	78.7	60.1	72.5	72.7	74.2
23全国	65.1	56.3	55.1	76.6	42.8	54.3	64.3	67.5

(分析)

【国語】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「書くこと」、観点別の「書く能力」で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、すべての問題で全国の正答率を上回っている。

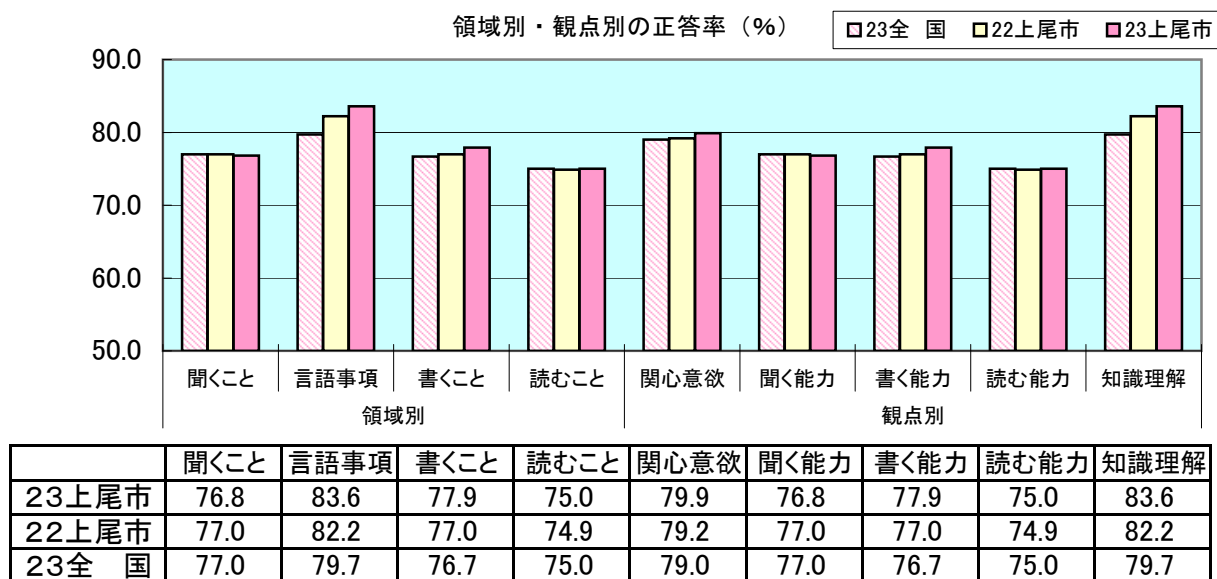
【算数】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「数量関係」、観点別の「知識・理解」で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、小数の積がかけられる数より大きくなる計算を判断する問題、小数の商がわられる数より大きくなる計算を判断する問題、ひし形の面積を求める問題、複雑な立体の体積を求める問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

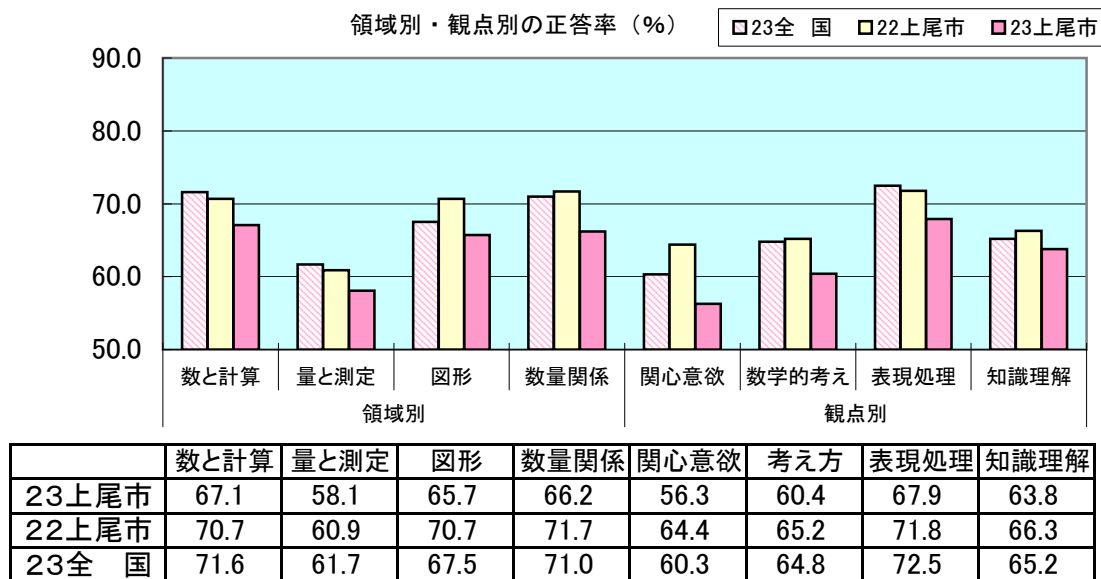
【中学校】

(1) 第1学年（小学校第6学年の学習内容）

【国語】



【数学（算数）】



(分析)

【国語】

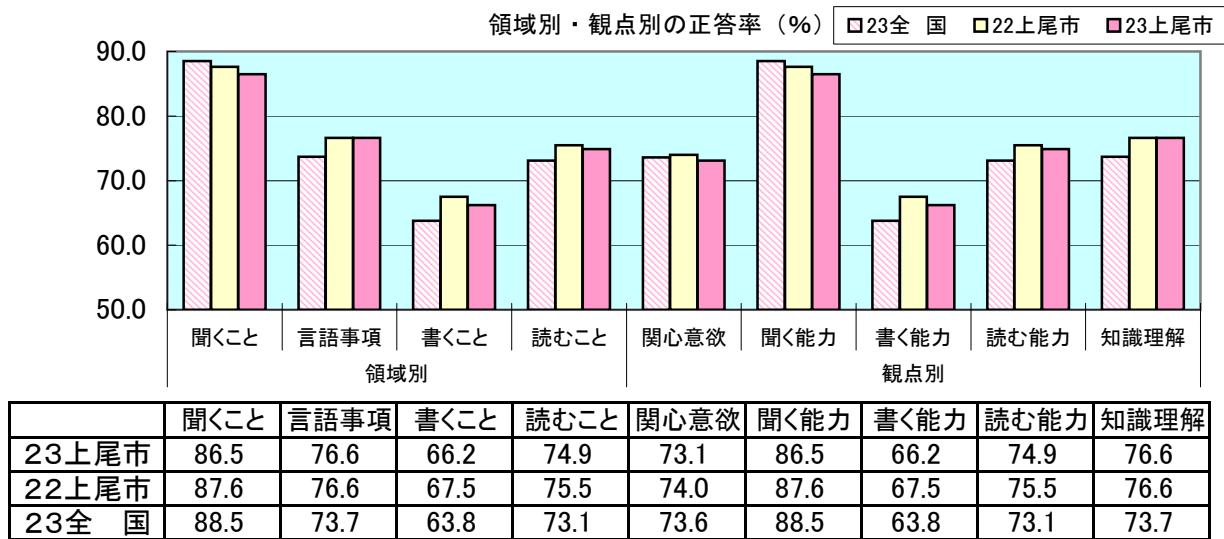
- 領域別の「言語事項」「書くこと」「読むこと」、観点別の「関心・意欲」「書く能力」「読む能力」「知識・理解」で全国の正答率と同じか上回っている。
- 領域別の「聞くこと」と観点別の「聞く能力」で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、すべての問題で全国の正答率を上回っている。

【数学（算数）】

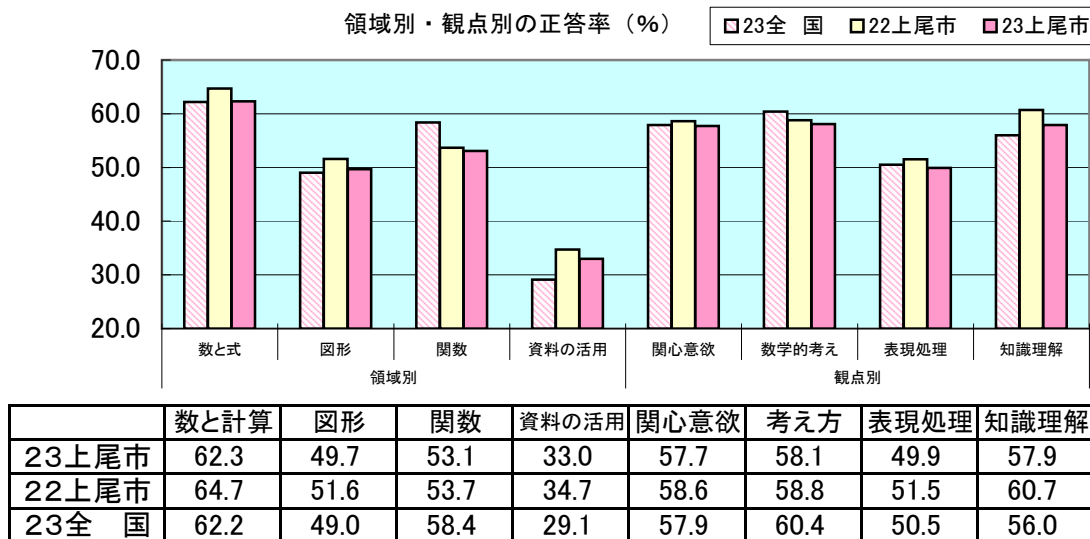
- すべての領域・観点で全国の正答率を下回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、帯分数のたし算やひき算、文を読んで分数の式を立てて答える問題、単位に関する問題、複雑な立体の体積を求める問題、拡大図・縮図に関する問題、場合の数に関する問題、文字と式に関する問題が全国の正答率以下となっている。

(2) 第2学年(第1学年の学習内容)

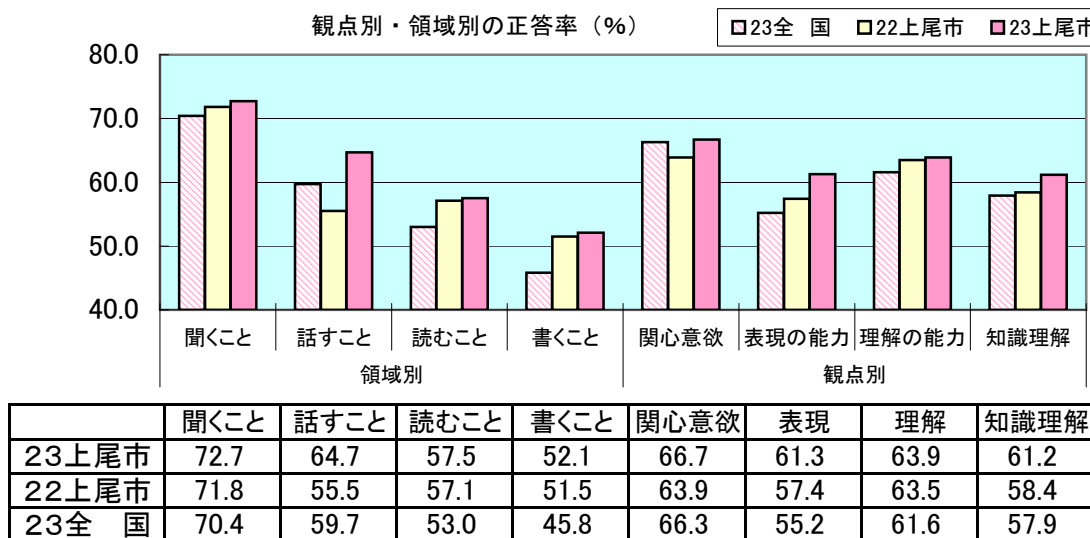
【国語】



【数学】



【英語】



(分析)

【国語】

- 領域別の「言語事項」「書くこと」「読むこと」、観点別の「書く能力」「読む能力」「知識・理解」で全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率と同じか下回っている。
- 問題別では、すべての問題で全国の正答率を上回っている。

【数学】

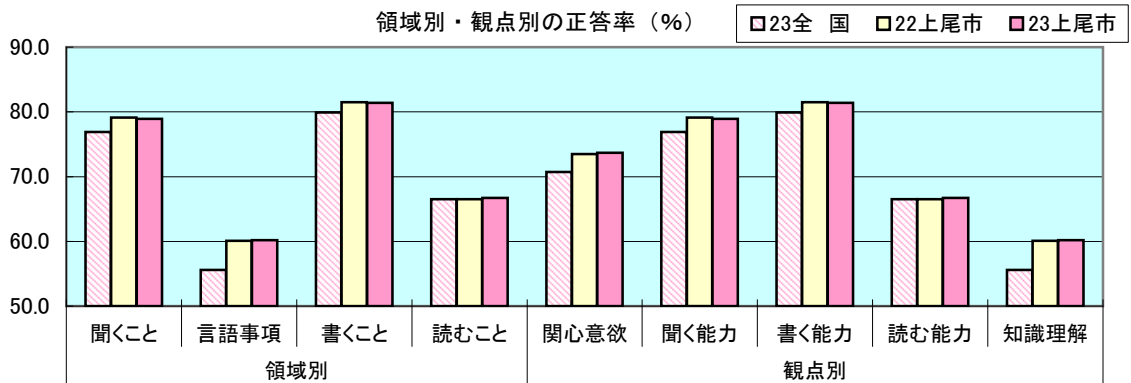
- 領域別の「数と計算」「図形」「資料の活用」、観点別の「知識・理解」が全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、絶対値を求める問題、小数や分数を含む一次方程式の計算や解き方を考える問題、円の接線と半径の性質を利用して角度を求める問題、おうぎ形の中心角の大きさや面積、回転体の体積を求める問題、比例・反比例に関するほぼすべての問題、近似値の問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【英語】

- すべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点においても、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、会話を聞いて問われた場所を答える問題、発音された単語を聞き取る問題、英文の正しい意味を選ぶ問題、英文を書き換える問題が全国正答率を下回り、課題がある。

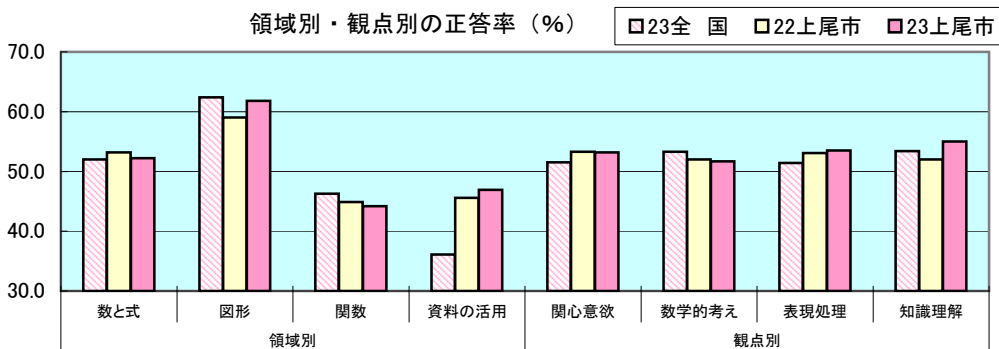
(3) 第3学年(第2学年の学習内容)

【国語】



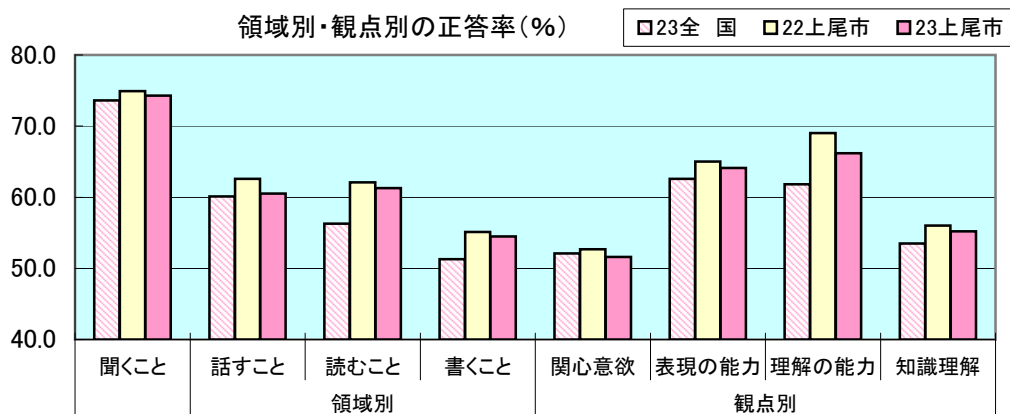
	聞くこと	言語事項	書くこと	読むこと	関心意欲	聞く能力	書く能力	読む能力	知識理解
23上尾市	78.9	60.2	81.4	66.7	73.7	78.9	81.4	66.7	60.2
22上尾市	79.1	60.1	81.5	66.5	73.5	79.1	81.5	66.5	60.1
23全国	76.9	55.6	79.9	66.5	70.7	76.9	79.9	66.5	55.6

【数学】



	数と式	図形	関数	資料の活用	関心意欲	考え方	表現処理	知識理解
23上尾市	52.2	61.8	44.2	46.9	53.2	51.7	53.5	55.0
22上尾市	53.2	59.0	44.9	45.6	53.3	52.0	53.1	52.0
23全国	52.0	62.4	46.3	36.1	51.5	53.3	51.4	53.4

【英語】



	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	関心意欲	表現	理解	知識理解
23上尾市	74.3	60.5	61.3	54.5	51.6	64.1	66.2	55.2
22上尾市	74.9	62.6	62.1	55.1	52.7	65.0	69.0	56.0
23全国	73.6	60.1	56.3	51.3	52.1	62.6	61.8	53.5

(分析)

【国語】

- すべての領域・観点で全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「言語事項」「読むこと」、観点別の「関心・意欲」「読む能力」「知識・理解」で昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、その文脈で最も適する類義語を選ぶ問題で全国の正答率を下回り、課題がある。

【数学】

- 領域別の「数と式」「資料の活用」、観点別の「関心・意欲」「表現・処理」「知識・理解」で、全国の正答率を上回っている。
- 領域別の「図形」「資料の活用」、観点別の「表現・処理」「知識・理解」で、昨年度の正答率を上回っている。
- 問題別では、単項式の乗除の問題、具体的な場面から連立方程式を立てて解を求める問題、合同な正三角形の性質を利用して角度を求める問題、合同な図形を判断する問題、多角形の内角の性質を利用して角度を求める問題、関数に関するほぼすべての問題が全国の正答率を下回り、課題がある。

【英語】

- 観点別の「関心・意欲」を除くすべての領域・観点で、全国の正答率を上回っている。
- すべての領域・観点で昨年度の正答率を下回っている。
- 問題別では、英文の中で最も強く発音する語、質問に対して適切に応答する問題、ほぼ同じ内容の英文を完成する問題等が全国の正答率を下回り、課題がある。

5 各教科の課題と改善の視点

【小学校】

(1) 国語

全学年とも昨年同様、全国の正答率を上回る状況である。しかし、学年ごとに問題別の課題があることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 身に付けさせたい言語能力を明確にし、基礎・基本の定着を図る学習指導方法を工夫する。

イ 日常生活に必要な言語能力の定着を図るとともに、自ら学び、課題を解決していく能力の育成を図る。

ウ 個に応じた教材の開発や学習形態・学習方法の工夫に努め、児童の実態に応じた学習活動を展開する。

エ 児童の学習状況を多面的・総合的にとらえ、次の学習に生かす評価を工夫する。

オ 学習に関する情報収集や情報発信の手段としてICTの活用を図る。

(2) 算数

全体的には昨年同様、全国の正答率を上回る状況である。しかし、基礎的・基本的な内容を確実に身に付けさせ、数学的な考え方を育てるため、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 児童が学習内容をよく理解し、納得し、実感できるように、算数的活動の充実、多様な考えが生かせる問題や場面の工夫、ICTの積極的な活用を図る。

イ 身に付けた知識や技能を活用するための思考力・表現力を育成し、算数のよさが実感を持って味わえるような指導方法の工夫・改善を図る。

ウ 観点別学習状況の評価規準や評価方法を明確にして指導と評価の計画を作成し、児童一人一人に応じた指導の手立てや支援を工夫する。

エ 児童の多様な考え方や表現に表れる数理的な処理のよさを生かし、児童相互による比較検討を充実させ、よりよい考え方や結果を追究する過程を重視した学習活動を展開する。

オ 繰り返し指導を行い、習熟を図る。

【中学校】

(1) 国語

全体的には昨年同様、全国の正答率を上回る状況である。しかし、学年ごとに、問題別の課題があることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 教師の説明を中心とした授業から、教えるべきことを教えた上で、生徒の学び合いを通して言語活動を重視する授業へと展開を図り、一人一人の学習意欲を高める。

イ 具体的な評価規準と評価方法を設定し、適切な手立てを講じ、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を工夫する。

ウ 思考力や表現力、判断力の育成を目指し、「読むこと」と「書くこと」や「話すこと・聞くこと」を関連させ、実生活に活用する事例やさまざまな文章、資料を意図的・計画的に活用する。

エ 発達の段階に応じた良書にふれさせることで、読書に親しむ態度を育成するとともに、豊かな創造力や表現力、語彙力を育てる。

オ 学習に関する情報収集や情報発信の手段としてICTの活用を図る。

(2) 数学

全体的には、全国の正答率よりやや下回る状況である。領域別では「図形」「関数」について課題があり、観点別では「数学的な考え方」に課題がある。そのため、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 生徒が目的意識をもって取り組む数学的活動を重視し、生徒が主体的に学習できるようにする。

イ 生徒の習熟の程度を把握し、補充的な学習や発展的な学習などの指導方法の工夫改善を図るとともに、繰り返し指導を行うことによって習熟を図り、学ぶことの楽しさと充実感のある学習展開を工夫する。

ウ 教材研究の充実を図り、教材のもつ意味や価値、系統性や発展性、他の内容や教科との関連、基礎・基本などを明確にする。

エ 観点別評価規準を明確にし、適切な評価方法を設定し、指導と評価の計画を作成・活用し、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を行う。

オ 生徒が学習内容をよく理解し、納得し、実感できるように、多様な考えが生かせる問題や場面の工夫、発問や指示の工夫、ICTの積極的な活用を図る。

(3) 英語

全体的には、全国の正答率を上回る状況である。しかし、英文の正しい意味の読み取り、質問に対して適切に回答する問題で課題が見られることから、以下に重点を置いて指導にあたる。

ア 学習の目標や指導内容を明確にし、指導過程や学習形態を工夫するとともに、個に応じた指導などきめ細かな指導の充実を図る。

イ 外国語指導助手（ALT）や地域人材などの協力を得たり、ICTの積極的活用を図ったりする。

ウ 具体的な評価規準や評価方法を設定し、評価を重視した指導と評価の計画を作成し、生徒一人一人の学習状況に応じた支援を工夫する。

エ 実際に言語を使用して互いの気持ちや考えを伝え合う活動を充実させ、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。

オ 言語の使用場面や言語の働きに配慮し、生徒が主体的に生き生きと授業に取り組めるよう学習展開や学習活動の工夫を図る。

6 質問紙調査結果の概要

【小学校第6学年】 ※ 総合は、国語と算数の問題数の合計から求めた正答率である。

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこ ない	無答もしくは 重答
	95.5%	3.3%	1.2%	0.0%	0.0%

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこ ない	市全体	全 国
総 合	75.7	64.6	55.6	60.0	75.1	70.2
国 語	82.5	73.5	65.4	62.0	82.0	77.6
算 数	69.0	55.7	45.8	58.0	68.2	62.8

(分析)

多くの児童が、学校に来る前に朝食を必ずとっており、昨年度と比較すると、「食べてくる」児童の割合が増加し、「食べてこない」児童の割合が減少した。「朝食を必ず食べてくる」と答えた児童の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就 寝の状況	1 いつも心 がけている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心 がけていない	4 心がけて いない	無答もしくは 重答
	24.2%	57.9%	15.9%	2.0%	0.0%

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心 がけている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心 がけていない	4 心がけて いない	市全体	全 国
総 合	75.2	75.5	74.1	69.9	75.1	70.2
国 語	81.7	82.4	81.2	78.0	82.0	77.6
算 数	68.7	68.6	67.0	61.8	68.2	62.8

(分析)

「だいたい心がけている」を含めて、多くの児童が早寝、早起きを心がけており、市及び全国の正答率を上回っている。あまり心がけていないを含めて、心がけていない児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 10時間以上	2 9～10時間	3 8～9時間	4 7～8時間	5 6～7時間	6 6時間未満	無答もしくは 重答
	0.5%	4.4%	14.7%	42.1%	33.6%	4.5%	0.2%

睡眠時間と正答率の関係

	1 10時間以上	2 9～10時間	3 8～9時間	4 7～8時間	5 6～7時間	6 6時間未満	市全体	全 国
総 合	70.1	74.6	77.2	74.0	69.9	62.9	75.1	70.2
国 語	76.2	81.6	83.6	81.7	77.6	68.8	82.0	77.6
算 数	64.0	67.6	70.7	66.3	62.3	57.0	68.2	62.8

(分析)

平均睡眠時間は7～8時間が最も多く、6～8時間の睡眠をとっている児童が全体の75%以上となり、昨年度と比べ睡眠時間が減っている。国語、算数ともに平均睡眠時間が8～9時間の児童の正答率が最も高く、市の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 ほとんどしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	41.2%	42.4%	15.4%	0.9%	

整理整頓と正答率の関係

	1 ほとんどしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	76.7	75.5	70.4	67.4	75.1	70.2
国語	84.0	82.1	76.9	71.9	82.0	77.6
算数	69.4	68.8	63.9	63.0	68.2	62.8

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのことを自分でしていると答えた児童が全体の80%以上となっており、身の回りの整理・整頓はおおむね自分で行っている現状である。整理・整頓をしている児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。していない児童は、全国の正答率も下回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に出会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答もしくは重答
	51.4%	40.4%	7.6%	0.4%	

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	75.4	75.5	72.7	47.7	75.1	70.2
国語	82.2	82.2	80.5	56.0	82.0	77.6
算数	68.6	68.8	65.0	39.3	68.2	62.8

(分析)

「しているほうが多い」を含め、あいさつをしていると答えた児童が90%以上で、昨年度をやや上回っている。「しているほうが多い」を含めて、あいさつをしている児童は、市及び全国の正答率を上回っている。一方、「していないほうが多い」を含め、あいさつをしていない児童は、全国の正答率を下回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな言葉づかい	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	無答もしくは重答
	48.3%	42.7%	8.7%	0.4%	

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	77.6	73.7	69.3	48.1	75.1	70.2
国語	84.3	80.6	76.6	59.0	82.0	77.6
算数	70.8	66.8	62.0	37.3	68.2	62.8

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、気をつけていると答えた児童は90%以上となっており、多くの児童が言葉づかいに気をつけている。言葉づかいに気をつけている児童の正答率のみが、市の正答率を上回っている。逆に「気をつけていないほうが多い」を含めて、気をつけていない児童の正答率は、全国の正答率を下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの扱い方	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	72.8%	26.0%	1.2%	0.0%	

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	76.2	72.4	66.9	0.0	75.1	70.2
国語	83.0	79.5	75.1	0.0	82.0	77.6
算数	69.5	65.3	58.7	0.0	68.2	62.8

(分析)

「大切にしていることのほうが多い」を含め、大切にしていると答えた児童は約99%となっており、ほぼ全員の児童が学校のものや公共物を大切にしている。昨年度同様、大切にしていると答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っており、逆に大切にしていないほうが多いと答えた児童の正答率は全国の正答率を下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	無答もしくは重答
	36.0%	57.7%	5.9%	0.1%	

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	76.0	75.1	69.1	73.3	75.1	70.2
国語	83.0	81.9	76.4	80.7	82.0	77.6
算数	69.1	68.4	61.9	66.0	68.2	62.8

(分析)

「守っているほうが多い」を含め、学校のきまりを守って生活していると答えた児童は約94%となっており、ほとんどの児童が学校のきまりを守って生活している。「守っていないほうが多い」を含め、守れていない児童の正答率は、市の正答率を下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	42.6%	49.1%	7.3%	0.2%	0.8%

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	78.5	73.3	67.6	63.6	75.1	70.2
国語	84.6	80.7	75.3	71.6	82.0	77.6
算数	72.4	65.9	59.8	55.6	68.2	62.8

(分析)

「ものごとを最後までやり遂げようとしている」「やり遂げようとしているほうが多い」と答えた児童は約90%となっており、多くの児童がものごとを最後までやり遂げようとしている。「していないほうが多い」を含めて、やり遂げようとしていない児童の正答率は、全国の正答率を下回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	8.6%	13.8%	38.3%	29.7%	7.8%	1.7%	0.1%

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	82.3	77.4	76.1	73.7	66.3	63.1	75.1	70.2
国語	87.1	83.2	82.9	81.1	75.3	72.8	82.0	77.6
算数	77.5	71.6	69.4	66.2	57.3	53.4	68.2	62.8

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強をしている児童が最も多く、1時間以上勉強している児童は、昨年度より増加し60%以上となっている。少なくとも1時間以上勉強している児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。また、1時間より少ない児童の正答率は、市の正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答もしくは重答
	69.9%	26.4%	2.7%	0.3%	0.7%

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	76.8	71.8	63.1	81.7	75.1	70.2
国語	83.6	78.8	70.0	85.7	82.0	77.6
算数	70.0	64.9	56.1	77.7	68.2	62.8

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、書いていると答えた児童は95%以上となっている。「きちんと書いている」と答えた児童は昨年度を上回り、正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。逆に、「書いていないほうが多い」を含めて、書いていない児童の正答率は全国の正答率を下回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答もしくは重答
	19.5%	49.6%	25.8%	4.7%	0.4%

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	82.2	76.0	70.0	65.2	75.1	70.2
国語	86.7	82.6	78.6	74.5	82.0	77.6
算数	77.8	69.4	61.4	55.8	68.2	62.8

(分析)

「ときどき発言する」と答えた児童がもっとも多く、児童全体の約50%となり、昨年度を上回っている。「ときどき発言する」を含め、発言すると答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っており、「ほとんど発言しない」を含め、発言しないと答えた児童の正答率は、全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話で通話やメールをしていますか。

携帯電話	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話を持っていない	無答もしくは重答
	10.1%	14.8%	4.4%	70.2%	0.5%

携帯電話の使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話を持っていない	市全体	全国
総合	73.8	74.1	70.2	75.9	75.1	70.2
国語	82.4	81.7	77.8	82.3	82.0	77.6
算数	65.2	66.5	62.6	69.5	68.2	62.8

(分析)

「携帯電話を持っていない」と答えた児童が最も多く、児童全体の約70%となっている。「ときどきしている」を含め、していると答えた児童が昨年度より増えている。「携帯電話を持っていない」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答もしくは 重答
		38.6%	34.0%	19.0%	7.9%

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
	総 合	78.1	75.0	71.9	69.6	75.1
国 語	85.7	82.0	77.5	75.3	82.0	77.6
算 数	70.4	68.1	66.3	64.0	68.2	62.8

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた児童は、昨年度を上回り、約73%となっている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段(月～金曜)、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。(教科書や参考書、漫画、雑誌は除く)

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	無答もしくは 重答
		4.1%	10.3%	28.0%	24.7%	18.2%	14.7%

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少 ない	6 まったくし ない	市全体	全 国
	総 合	76.1	75.0	75.4	77.1	74.8	71.4	75.1
国 語	85.1	83.5	82.9	83.1	81.0	77.5	82.0	77.6
算 数	67.1	66.4	68.0	71.0	68.6	65.2	68.2	62.8

(分析)

家や学校、図書館で1日あたり30分～1時間の読書をしている児童が最も多く、児童全体の28%となっている。15分以上の読書をしている児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答もしくは 重答
		50.2%	38.3%	8.3%	3.1%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
	総 合	77.6	73.0	72.1	69.0	75.1
国 語	84.2	80.0	79.0	77.0	82.0	77.6
算 数	70.9	66.0	65.1	61.0	68.2	62.8

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた児童は、児童全体の約90%となっている。「好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、それ以外の児童の正答率は市の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答もしくは 重答
	21.1%	41.7%	27.6%	9.6%	0.0%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	81.4	76.1	71.1	68.5	75.1	70.2
国 語	86.5	82.7	79.3	76.3	82.0	77.6
算 数	76.2	69.5	62.9	60.7	68.2	62.8

(分析)

「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた児童は、児童全体の約60%となっている。「好き」「どちらかといえば好き」と答えた児童の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

【中学校第3学年】 ※総合は、国語と算数・数学の問題数の合計から求めた正答率である

(1) 学校に来る前に、きちんと朝ごはんを食べてきますか。

朝食の 摂取状況	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこ ない	無答もしくは 重答
	89.5%	5.8%	2.8%	1.8%	0.1%

朝食と正答率の関係

	1 食べてくる	2 食べてくる ほうが多い	3 食べてこない ほうが多い	4 食べてこ ない	市全体	全 国
総 合	63.0	53.5	49.1	46.9	61.8	59.9
国 語	70.5	63.6	59.4	59.4	69.5	67.3
数 学	54.6	44.2	41.8	38.5	53.3	52.4
英 語	64.0	52.3	46.3	42.7	62.4	60.0

(分析)

「食べてくる」「食べてくるほうが多い」と答えた生徒は約95%となっており、昨年度とほぼ同じ割合であり、多くの生徒が、学校に来る前に朝食をとっている。「朝ごはんを食べてくる」と回答した生徒の正答率だけが市及び全国の正答率を上回っている。

(2) 早寝、早起きを心がけていますか。

起床・就寝 の状況	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	無答もしくは 重答
	11.0%	41.2%	36.0%	11.7%	0.1%

早寝、早起きと正答率の関係

	1 いつも心が けている	2 だいたい心 がけている	3 あまり心が けていない	4 心がけてい ない	市全体	全 国
総 合	60.6	61.8	63.2	58.9	61.8	59.9
国 語	69.0	69.2	71.0	66.9	69.5	67.3
数 学	51.8	53.3	54.5	51.4	53.3	52.4
英 語	60.9	62.7	64.0	58.5	62.4	60.0

(分析)

「早寝、早起きをだいたい心がけている」と答えが生徒が最も多くなっている。その正答率は、全国の正答率を上回っている。心がけていない生徒の正答率のみが、全国の正答率を下回っている。あまり心がけていない生徒の正答率が最も高い。

(3) 一日の睡眠時間はどれくらいですか。(土曜、日曜日は除く)

睡眠時間	1 10時間以上	2 9～10時間	3 8～9時間	4 7～8時間	5 6～7時間	6 6時間未満	無答もしくは重答
	0.3%	2.6%	14.5%	37.3%	34.7%	10.6%	0.1%

睡眠時間と正答率の関係

	1 10時間以上	2 9～10時間	3 8～9時間	4 7～8時間	5 6～7時間	6 6時間未満	市全体	全 国
総 合	41.5	52.2	58.4	62.7	62.8	62.9	61.8	59.9
国 語	53.0	63.2	67.0	70.3	70.1	70.4	69.5	67.3
数 学	37.7	42.2	49.6	54.1	54.5	54.8	53.3	52.4
英 語	33.3	51.2	58.6	63.6	63.7	63.3	62.4	60.0

(分析)

一日の平均睡眠時間は7～8時間が最も多く、7～9時間の睡眠をとる生徒の割合が昨年度を上回っている。また、平均睡眠時間が6時間未満の生徒の正答率が最も高く、6時間未満～8時間の睡眠をとっている生徒の正答率は、すべての教科において、市の正答率を上回っている。

(4) 身の回りのこと(整理・整頓など)は、自分でしていますか。

整理整頓	1 ほとんどしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	41.8%	42.9%	13.8%	1.4%	

整理整頓と正答率の関係

	1 ほとんどしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	63.2	61.9	58.3	51.5	61.8	59.9
国語	70.9	69.7	66.1	60.4	69.5	67.3
数学	54.6	53.2	51.0	42.5	53.3	52.4
英語	64.0	62.8	58.0	51.8	62.4	60.0

(分析)

「しているほうが多い」を含め、身の回りのこと(整理・整頓など)を自分でしていると答えた生徒が約85%となっており、多くの生徒が身の回りの整理・整頓は自分でやっている。整理・整頓をしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(5) 先生や友だち、近所の人に会った時、あいさつをしていますか。

あいさつ	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	無答もしくは重答
	47.8%	40.1%	10.5%	1.5%	

あいさつと正答率の関係

	1 あいさつをしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 あいさつをしていない	市全体	全国
総合	63.2	61.7	57.9	45.5	61.8	59.9
国語	70.8	69.1	67.1	57.7	69.5	67.3
数学	54.2	53.7	50.4	34.9	53.3	52.4
英語	64.4	62.4	56.4	44.1	62.4	60.0

(分析)

「あいさつをしている」「しているほうが多い」と答えた生徒が全体の約88%で、多くの生徒が、先生や友だち、近所の人にあいさつをしている現状である。「あいさつをしているほうが多い」を含め、あいさつをしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回り、逆に、「あいさつをしていないほうが多い」を含め、あいさつをしていない生徒の正答率は、全国の正答率を下回っている。

(6) 相手や場面に応じて、言葉づかいに気をつけていますか。

ていねいな言葉づかい	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	無答もしくは重答
	46.7%	43.2%	8.2%	1.8%	

言葉づかいと正答率の関係

	1 気をつけている	2 いるほうが多い	3 いないほうが多い	4 気をつけていない	市全体	全国
総合	64.0	61.7	52.8	47.1	61.8	59.9
国語	71.4	69.6	61.0	59.8	69.5	67.3
数学	55.2	53.4	45.5	38.9	53.3	52.4
英語	65.4	62.1	51.8	42.5	62.4	60.0

(分析)

「気をつけているほうが多い」を含め、言葉づかいに気をつけている生徒は約90%となっている。言葉づかいに気をつけている生徒の正答率だけが、市の正答率を上回っている。逆に、「気をつけていないほうが多い」を含めて、気をつけていない生徒の正答率は、全国の正答率も下回っている。

(7) 学校のものや公共物を大切にしていますか。

ものの扱い方	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	58.0%	37.1%	3.7%	1.1%	

ものの扱い方と正答率の関係

	1 大切にしている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	63.2	60.8	53.3	45.9	61.8	59.9
国語	71.1	68.4	60.3	57.5	69.5	67.3
数学	54.4	53.0	45.9	34.8	53.3	52.4
英語	64.2	61.1	53.6	45.5	62.4	60.0

(分析)

「大切にしている」と答えた生徒が最も多く、「しているほうが多い」を含め、大切にしていると答えた生徒の割合は約95%となっている。大切にしていると答えた生徒の正答率だけが、市の正答率を上回っており、逆に、「していないほうが多い」を含め、大切にしていると答えた生徒の正答率は、すべての教科において、全国の正答率を下回っている。

(8) 学校のきまりを守って生活していますか。

きまりを守る	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	無答もしくは重答
	43.9%	48.8%	6.0%	1.1%	

学校のきまりと正答率の関係

	1 守っている	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 守れていない	市全体	全国
総合	64.6	61.2	48.9	44.6	61.8	59.9
国語	71.6	69.4	58.0	56.2	69.5	67.3
数学	56.5	52.5	40.8	33.3	53.3	52.4
英語	65.7	61.8	48.0	44.6	62.4	60.0

(分析)

「守っている」と答えた生徒の割合が昨年度を上回り、「しているほうが多い」を含め、守っていると答えた生徒は約93%となっており、ほとんどの生徒が学校のきまりを守って生活している。「守っている」と答えた生徒の正答率だけが、市の正答率を上回っており、「していないほうが多い」を含めて、守れていない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(9) 普段ものごとを最後までやり遂げようとしていますか。

やり遂げる	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	無答もしくは重答
	34.7%	53.2%	10.0%	1.5%	0.6%

ものごとをやり遂げることと正答率の関係

	1 している	2 しているほうが多い	3 していないほうが多い	4 していない	市全体	全国
総合	65.1	61.9	52.5	49.7	61.8	59.9
国語	72.0	69.5	63.0	63.0	69.5	67.3
数学	56.6	53.8	42.9	38.3	53.3	52.4
英語	66.7	62.4	51.6	47.8	62.4	60.0

(分析)

「ものごとを最後までやり遂げようとしている」と答えた生徒の割合が昨年度を上回り「しているほうが多い」を含め、やり遂げようとしている生徒は約88%となっており、おおむね最後までやり遂げようとしている現状である。ものごとを最後までやり遂げようとしている生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている。

(10) 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜)1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾や家庭教師を含む)

勉強時間	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	6.6%	27.3%	31.4%	15.2%	8.6%	10.7%	0.2%

勉強時間と正答率の関係

	1 3時間以上	2 2～3時間	3 1～2時間	4 30分～1時間	5 30分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	67.8	68.3	61.0	60.5	56.0	50.3	61.8	59.9
国語	72.8	74.0	68.4	68.7	66.1	63.5	69.5	67.3
数学	59.1	60.9	52.5	51.9	47.3	40.1	53.3	52.4
英語	71.5	70.1	62.1	60.7	54.6	47.3	62.4	60.0

(分析)

学校の授業時間以外に1日あたり1～2時間勉強している生徒が最も多い。3時間以上の生徒の割合が昨年度を下回ったが、1時間以上勉強している生徒が全体の約65%である。すべての教科において、2時間以上勉強している生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っている一方、2時間未満の生徒の正答率は市の正答率を下回っている。

(11) 学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いていますか。

書くこと	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	無答もしくは重答
	76.7%	19.3%	2.6%	0.8%	0.7%

ノートに書くことと正答率の関係

	1 きちんと書いている	2 書いているほうが多い	3 書いていないほうが多い	4 書いていない	市全体	全国
総合	64.6	53.8	45.7	41.4	61.8	59.9
国語	71.5	64.2	55.4	58.8	69.5	67.3
数学	56.2	44.7	39.1	30.5	53.3	52.4
英語	65.9	52.6	42.7	35.1	62.4	60.0

(分析)

「書いているほうが多い」を含め、きちんと書いている生徒は、生徒全体の96%となっており、ほとんどの生徒が、学校の授業で黒板に書いてあることや、先生の説明をノートに書いている。「きちんと書いている」と答えた生徒の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。

(12) 授業中に発言をしますか。

発言する	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	無答もしくは重答
	15.1%	41.5%	31.9%	10.9%	0.6%

授業中の発言と正答率の関係

	1 よく発言する	2 ときどき発言する	3 ほとんど発言しない	4 まったく発言しない	市全体	全国
総合	71.7	64.9	57.1	50.0	61.8	59.9
国語	76.3	71.8	66.3	61.2	69.5	67.3
数学	65.0	56.9	47.6	40.2	53.3	52.4
英語	73.8	65.9	57.3	48.8	62.4	60.0

(分析)

「ときどき発言する」と答えた生徒の割合が最も多く、昨年度を上回っている一方、「よく発言する」と答えた生徒の割合が、昨年度を下回っている。「ときどき発言する」を含め発言すると答えた生徒の正答率は、市及び全国の正答率を上回っているが、逆に「ほとんど発言しない」を含めて、発言しない生徒の正答率は、市及び全国の正答率を下回っている。

(13) 携帯電話で通話やメールをしていますか。

携帯電話	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話を持っていない	無答もしくは重答
	37.8%	24.9%	3.6%	33.1%	0.6%

携帯電話の使用と正答率の関係

	1 ほぼ毎日している	2 ときどきしている	3 まったく、または、ほとんどしていない	4 携帯電話を持っていない	市全体	全国
総合	60.3	62.5	65.1	62.9	61.8	59.9
国語	68.5	69.8	70.6	70.7	69.5	67.3
数学	51.2	54.8	57.2	54.6	53.3	52.4
英語	61.3	63.1	67.3	63.2	62.4	60.0

(分析)

「ほぼ毎日している」と答えた生徒が最も多く、昨年度を上回り、約38%となっている。一方「携帯電話を持っていない」と答えた生徒も昨年度より上回っている。ほぼ毎日している生徒の正答率のみが、市及び全国の正答率を下回っている。

(14) 読書は好きですか。

読書	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	41.0%	34.8%	15.9%	7.5%	0.8%

読書と正答率の関係

	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答	全国
総合	65.3	60.6	58.6	55.2	61.8	59.9
国語	73.7	68.7	64.8	61.1	69.5	67.3
数学	56.2	52.1	50.8	48.9	53.3	52.4
英語	65.9	61.0	60.2	55.7	62.4	60.0

(分析)

「読書は好き」と答えた生徒の割合は昨年度を上回り、「どちらかといえば好き」を含め、好きと答えた生徒は約76%となり、昨年度を上回っている。好きと答えた生徒の正答率だけが、市及び全国の正答率を上回っている。一方、「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではない生徒の正答率は、市及び全国の正答率も下回っている。

(15) 家や学校、図書館で普段(月～金曜)、1日あたりどれくらいの時間、読書を行いますか。(教科書や参考書、漫画、雑誌は除く)

読書時間	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	無答もしくは重答
	4.4%	8.2%	17.6%	30.8%	27.5%	11.4%	0.1%

読書時間と正答率の関係

	1 2時間以上	2 1～2時間	3 30分～1時間	4 15分～30分	5 15分より少ない	6 まったくしない	市全体	全国
総合	58.6	61.7	63.4	64.8	61.7	52.7	61.8	59.9
国語	71.0	70.6	71.1	72.3	68.8	60.2	69.5	67.3
数学	49.4	52.9	55.1	56.3	53.1	45.2	53.3	52.4
英語	55.3	61.5	64.2	65.7	63.2	52.9	62.4	60.0

(分析)

家や学校、図書館で1日あたりの読書時間が「まったくしない」「15分より少ない」と答えた生徒の割合が全体の約39%となり、昨年度を下回っている。昨年度と比べ全体的に読書時間が増えている傾向である。読書時間が、15分～1時間の正答率は、すべての教科において市及び全国の正答率を上回っている。

(16) 学校は好きですか。

学校好き	1 好き	2 どちらかといえば好き	3 どちらかといえば好きではない	4 好きではない	無答もしくは重答
	32.8%	43.4%	15.6%	8.1%	0.1%

学校好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	64.5	61.8	58.9	56.1	61.8	59.9
国 語	71.6	69.5	67.8	64.9	69.5	67.3
数 学	55.8	53.6	50.3	47.7	53.3	52.4
英 語	66.1	62.5	58.5	55.7	62.4	60.0

(分析)

「好き」「どちらかといえば好き」と答えた生徒は、生徒全体の約76%となり、生徒の正答率は、すべての教科において、市及び全国の正答率と同じか上回っている。「どちらかといえば好きではない」を含め、好きではないと答えた生徒の正答率は市の正答率を下回っている。

(17) 勉強は好きですか。

勉強好き	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	無答もしくは 重答
	4.5%	18.7%	41.5%	35.2%	0.2%

勉強好きと正答率の関係

	1 好き	2 どちらかとい えば好き	3 どちらかとい えば好きでは ない	4 好きではない	市全体	全 国
総 合	75.2	68.0	63.0	55.4	61.8	59.9
国 語	79.5	74.0	70.5	64.8	69.5	67.3
数 学	68.4	59.9	54.3	46.8	53.3	52.4
英 語	77.8	70.1	64.1	54.6	62.4	60.0

(分析)

「どちらかといえば好きではない」「好きではない」と答えた生徒は、生徒全体の約77%となっている。「好きではない」と答えた生徒の正答率だけが、すべての教科において市及び全国の正答率を下回っている。

7 まとめ

学力調査の結果から、領域別・観点別の結果の一部に課題が見られるものの、全体的には昨年度に引き続き、全国標準値を上回っている。これは、教員一人一人が日々の授業の充実を図り、着実に取り組んできたこと、各学校が作成し実践している「学力向上プラン」による取組が充実してきたこと、委嘱研究や自主研究を計画的に行うことで教員の資質が向上したことなどが要因であると考えられる。

校種別に見ると、小学校では、

- 総合した標準得点値で見ると、22校中19校で全国標準値を上回っている。
- すべての学年で、国語と算数の標準得点が全国標準値を上回っている。
- 領域別・観点別における全国の平均正答率との比較は、国語・算数ともに、すべての学年で全国の平均正答率を上回っている。
- 領域別・観点別における昨年度の上尾市との比較は、国語ではすべての学年で上回っているが、算数では、すべての学年で共通して下回っているのが、領域別の「数と計算」「量と測定」と観点別の「表現・処理」である。

中学校では、

- 総合した標準得点値で見ると、11校中7校で全国標準値を上回っている。
- すべての学年で、国語、英語の標準得点が全国標準値を上回っている。
- 領域別・観点別における全国の平均正答率との比較は、学年によって異なるが、国語ではほとんどの領域・観点で上回っている。算数・数学では、第1・2学年では下回っている領域・観点が多く見られる。英語では、ほとんどの領域・観点で上回っている。共通して下回っているのが、第1・2学年の国語で領域別の「聞くこと」と観点別の「聞く能力」が、2・3学年の数学で「関数」「考え方」である。
- 領域別・観点別における昨年度の上尾市との比較は、第1学年の国語と第2学年の英語ではほとんどの領域・観点で上回っている。第1学年の算数、第2学年の国語・数学、第3学年の英語は、すべての領域・観点で昨年度と同値か下回っている。

このことから、上尾市としては算数・数学に課題があると言える。また、国語・英語についても、それぞれの学年において補充的な学習が必要な領域別・観点別の項目があり、今後課題解決に向け取り組んでいく必要がある。

各学校では、自校の学力調査結果から成果と課題を明確化、共有化して「学力向上プラン」を改善するとともに、一人一人の児童生徒の実態に応じたきめ細かな指導の具体的な手立てを計画して引き続き取り組むことが重要である。特に、1時間ごとの授業の充実に向けて、「学力向上プラン」の内容を着実に実施していく必要がある。

また、授業研究会・研究協議会等において、その授業実践における具体的な手立ての効果を検証し、さらなる改善を図ることが大切である。

小学校第6学年及び中学校第3学年では、昨年度に続き質問紙調査を行い、学力との相関関係を分析した。各学校では、教職員が一丸となり、「教育に関する3つの達成目標」との関連を図り、「規律ある態度」の育成や学習規律の確立に向け、家庭や地域住民等との連携も深めつつ、独自の実践を重ね、日々、取り組んでいるところである。調査結果から伺えるように、「規律ある態度」の内容や、「早寝・早起き・朝ごはん」をはじめとする生活態度や規則正しい生活のリズム、正しい言葉づかいやあいさつなどは、学力を向上させる基盤となるものである。今後も、基本的な学習規律や生活習慣を一層確立するため、家庭との連携をさらに推進することが必要である。

教育委員会では、各学校が、今回及びこれまでの調査結果を生かし、委嘱研究や授業研究会等をとって学習指導の工夫・改善を図ることができるよう支援する。また、学校・家庭・地域が連携を深め、互いに協力して児童生徒一人一人に確かな学力を身に付けさせることができるよう働きかけていく。